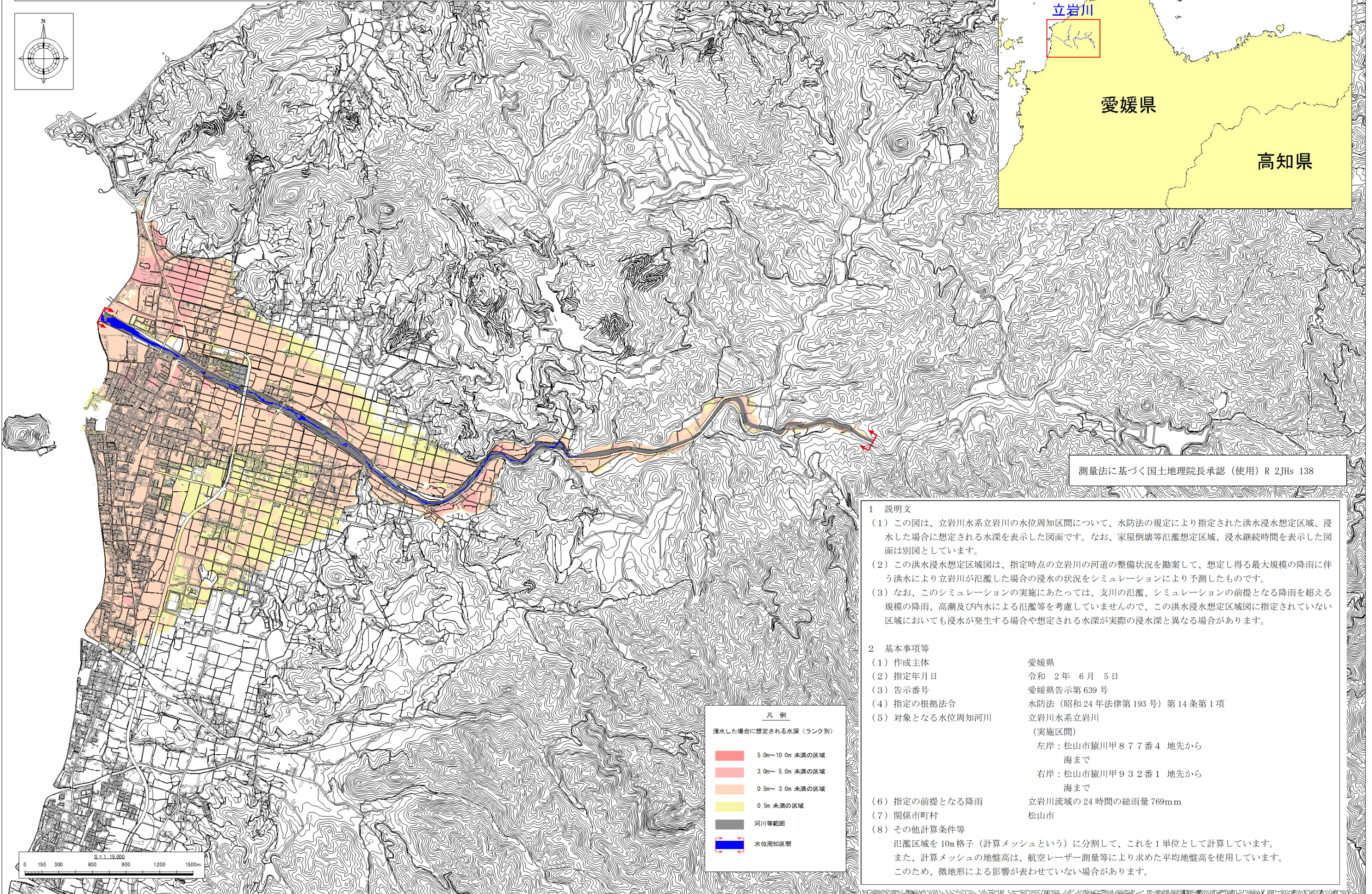
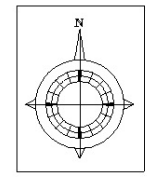


立岩川水系立岩川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2JHs 138

1 説明文

(1) この図は、立岩川水系立岩川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水継続時間を表示した図面は別図としています。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の立岩川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により立岩川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	愛媛県
(2) 指定年月日	令和 2年 6月 5日
(3) 告示番号	愛媛県告示第 639 号
(4) 指定の根拠法令	水防法 (昭和 24 年法律第 193 号) 第 14 条第 1 項
(5) 対象となる水位周知河川	立岩川水系立岩川 (実施区間) 左岸: 松山市猿川甲 8 7 7 番 4 地先から海まで 右岸: 松山市猿川甲 9 3 2 番 1 地先から海まで
(6) 指定の前提となる降雨	立岩川流域の 24 時間の総雨量 769mm
(7) 関係市町村	松山市
(8) その他計算条件等	氾濫区域を 10m 格子 (計算メッシュという) に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。

凡 例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

	5.0m~10.0m 未満の区域
	3.0m~5.0m 未満の区域
	0.5m~3.0m 未満の区域
	0.5m 未満の区域
	河川等範囲
	水位周知区間

